

事業概要

各課等の事業概要

1 健康科学課

健康科学課の業務は、細菌、ウイルス、臨床（表1-1）、及び理化学検査に関する試験検査業務と調査研究、並びに研究所の管理運営事業である。

細菌検査では、食中毒、苦情食品、収去食品や飲料水、プール水、河川水、浴槽水、結核・感染症発生動向調査事業等の試験検査及び調査研究を行っている。

ウイルス検査では、結核・感染症発生動向調査事業に係る検査と調査研究、並びに食中毒及び感染症の集団発生時の検査を行っている。

臨床検査では、三歳児健康診査、被爆者健康診断に係る検査の他、特定感染症検査等事業実施要綱に基づき、HIV抗体検査等を行っている。

理化学検査では、食品、家庭用品等について行なうGLP（検査結果の信頼性を担保するための検査業務管理制度）に則した試験検査のほか、食中毒・苦情食品等の理化学検査や飲料水及びプール水等の水質検査、医薬品等検査、室内空気中の化学物質検査などを実施している。

（1）細菌検査

ア 病原細菌検査

赤痢予防対策実施要綱に基づき、給食従事者及び保健所職員の定期検便等を実施した（表1-2）。赤痢菌、チフス菌及び腸管出血性大腸菌等の病原菌は検出されなかった。

感染症法に基づき、感染症発生時及び海外渡航者等を対象に細菌検査を実施した（表1-3）。

イ 食中毒発生時及び苦情食品の検査

食中毒及び苦情に伴う患者便、食品、拭き取り等について原因菌の検索を行った（表1-4）。原因菌として、サルモネラ、カンピロバクター等が検出された。

ウ 収去食品等の細菌検査

食品衛生法に基づく規格基準、千葉市の指導基準及び食品の汚染状況に係るものについて検査を実施した。種類及び項目については表1-5のとおりである。

表 1-1 平成 23, 24, 25 年度 健康科学課（細菌・ウイルス・臨床）検査件数

区 分		23 年度	24 年度	25 年度
総 計		74,558	68,633	67,307
細菌	病原細菌	802	1,033	924
	食品細菌	2,334	1,926	1,758
	食中毒細菌	13,212	9,436	9,443
	結核菌	-	-	-
	飲料水細菌	2,305	1,323	1,229
	プール水細菌	24	24	36
	河川水、放流水等の細菌	227	232	234
	冷却塔水、浴槽水等	12	15	12
真菌	分離培養	-	-	-
ウイルス	分離同定(含食中毒と食品)	2,392	1,782	2,662
	血清、免疫血清	872	798	859
寄生虫	種同定	2	8	4
臨床	尿一般	52,376	52,056	50,146

表 1-2 平成 25 年度 腸内細菌検査実施状況

項 目	件 数
赤痢菌、チフス菌	352
腸管出血性大腸菌等	375
計	727

表 1-3 平成 25 年度 感染症発生時細菌検査実施状況

項 目	海外渡航者等	患者及び接触者等	計
赤痢菌	0	6	6
チフス菌	3	16	19
コレラ菌	0	1	1
腸管出血性大腸菌	2	157	159
その他	0	12	12
計	5	192	197

表 1-4 平成25年度 食中毒発生時及び苦情食品等の検査実施状況

区 分		総数	食品	糞便	吐物	ふきとり	水等
検 体 数		699	159	498	2	32	8
項 目 数		9,443	2,235	6,705	30	438	35
検 査 項 目	生菌数	2	2	0	0	0	0
	大腸菌群	2	2	0	0	0	0
	E.coli	0	0	0	0	0	0
	サルモネラ	627	148	443	2	29	5
	黄色ブドウ球菌	642	151	458	2	29	2
	ビブリオ	624	148	443	2	29	2
	病原性大腸菌	634	148	450	2	32	2
	腸管出血性大腸菌	624	148	443	2	29	2
	セレウス菌	629	148	448	2	29	2
	エルシニア	624	148	443	2	29	2
	エロモナス	624	148	443	2	29	2
	ブレジオモナス	624	148	443	2	29	2
	赤痢菌	624	148	443	2	29	2
	カンピロバクター	667	156	476	2	29	4
	ウェルシュ菌	624	148	443	2	29	2
	コレラ菌	624	148	443	2	29	2
チフス菌	624	148	443	2	29	2	
パラチフス菌	624	148	443	2	29	2	
検 出 菌	<i>C. jejuni</i>	18	3	13	0	0	2
	黄色ブドウ球菌	92	8	84	0	0	0
	S. Enteritidis	2	0	1	0	0	1
	S. Thompson	1	0	0	0	0	1
	S. Typhimurium	1	0	0	0	0	1
	セレウス菌	43	12	27	1	3	0

表 1-5 平成25年度 収去食品等の微生物検査実施状況

分類	項目	総 数	項目数																				
			細菌数	大腸菌群	E.coli	E.coli MPN	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属	セレウス菌	ビブリオ属	カンピロバクター	リストテリア	クロストリジウム属菌	抗生物質	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ最確数	恒温試験	細菌試験	乳酸菌数	ウェルシュ菌	VRE	腸球菌	緑膿菌
	項目数	1,758	236	185	124	9	162	108	2	737	65	5	-	10	63	36	5	5	6	-	-	-	-
魚介類		286	23	1	14	9	14	-	-	179	-	-	-	10	-	36	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品(無加熱摂取)		18	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品(凍結前加熱)		29	14	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品(凍結前未加熱)		14	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚介類加工品		180	14	22	10	-	7	5	-	108	2	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
肉卵類及びその加工品		144	5	4	19	-	19	43	-	30	8	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
乳製品		45	7	17	1	-	1	1	-	6	1	5	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
アイスクリーム類、氷菓		20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穀類及びその加工品		492	59	19	40	-	59	39	-	234	39	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
野菜類・果実及びその加工品		368	37	28	32	-	22	20	2	180	15	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-
菓子類		120	40	40	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水		10	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛乳		20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加工乳(3%未満)		2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	-	-	-	-	-

エ 水質検査

水質細菌検査の種類及び項目数については、表 1-6 のとおりである。水道法に基づく飲料水検査、千葉県遊泳用プール指導要綱に基づくプール水検査、及び環境基本法等に基づく事業場排水、河川水、海水、海水浴場水の検査を実施した。また、公衆浴場法及び特定建築物維持管理指導要綱に基づき、浴槽水、冷却塔水等のレジオネラ検査を実施した。

表 1-6 平成 25 年度 水質細菌検査実施状況

検査項目	件数
飲料水	
一般細菌	513
大腸菌	627
嫌気性芽胞菌	89
小計	1,229
プール水	
一般細菌	18
大腸菌群	18
小計	36
事業場排水	
大腸菌群数	108
河川水、海水	
大腸菌群数（最確数）	125
海水浴場水	
EHEC O157	1
小計	234
浴槽水・冷却塔水等	
レジオネラ	12
小計	12
総計	1,511

(2) ウイルス検査

ア 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス検査（表 1-7）

(ア) 麻疹ウイルス及び風疹ウイルス検査

保健所から依頼された咽頭ぬぐい液 193 検体、血液 184 検体及び尿 166 検体の計 543 検体について実施した。その結果、麻疹ウイルスはすべて陰性であったが、風疹ウイルスは 155 検体から検出された。その内訳は、遺伝子型 1a（ワクチン株）が 1 検体、2B 型が 136 検体、1E 型が 17 検体、型別不明が 1 検体であった。

(イ) 鳥インフルエンザウイルス A/H7N9 検査

保健所から依頼があり、鼻汁 5 検体及び咽頭ぬぐい液 3 検体の計 8 検体について実施した。その結果、すべて陰性であった。

(ウ) その他のウイルス検査

保健所及び病原体定点から依頼された咽頭ぬぐい液、糞便及び髄液等 425 検体について検査を実施した。

イ 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査（表 1-8）

食中毒及び感染症の集団発生時の食品、糞便、吐物、拭き取り及びその他の検体について、ノロウイルス及びその他のウイルス検査を実施した。また、ウイルスが検出された一部の検体については遺伝子解析（シーケンス）を実施した。

ウ 寄生虫検査

保健所から依頼された 4 検体について検査を実施した（表 1-1）。

表 1-7 平成 25 年度 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス検査実施状況

依頼元	咽頭ぬぐい液 （うがい液含む）	鼻汁	糞便等	髄液	尿	血清等	その他	計
病原体定点	69	215	57	-	1	-	2	344
保健所	411	23	14	19	332	375	1	1,175
計	480	238	71	19	333	375	3	1,519

表 1-8 平成 25 年度 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査実施状況

項目	食品	糞便	吐物	拭き取り	その他	計
ノロウイルス	74	482	4	49	3	612
その他のウイルス	13	447	4	30	-	494
遺伝子解析	4	33	-	-	-	37
計	91	962	8	79	3	1,143

(3) 臨床検査

ア 三歳児健康診査

三歳児健康診査について尿検査(一次、二次)を行った。一次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩、比重について、二次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩に沈査を追加して行った(表1-9)。

一次検査7,596件のうち有所見(糖・蛋白・潜血が±以上、白血球・亜硝酸塩が+以上)により行った二次検査数は685件(9.0%)であった。

イ 被爆者健康診断

被爆者健康診断について尿検査を行った(表1-9)。

ウ HIV抗体検査

「特定感染症検査等事業」についてHIV抗体検査を行った。スクリーニング及び確認検査は合計862件であり、最終判定で陽性は2件であった(表1-10)。

表 1-9 平成 25 年度 臨床検査実施状況

区 分 検査項目		総 数	内 訳	
			三歳児健診	被爆者健診
尿	糖	8,396	8,281	115
	蛋白	8,396	8,281	115
	ウロビリノーゲン	115	-	115
	潜血反応	8,396	8,281	115
	白血球	8,281	8,281	-
	亜硝酸塩	8,281	8,281	-
	比重	7,596	7,596	-
	沈査	685	685	-

表 1-10 平成 25 年度 HIV抗体検査実施状況

項目	件数	陽性数
スクリーニング検査	859	3
確認検査	3	2

(4) 理化学検査

ア 食品等検査

平成 25 年度の理化学検査総数は、食品等 1,136 検体、25,196 項目であった。

(7) 食品中の添加物等検査、乳及び乳製品・容器包装等の規格試験検査、重金属検査、自然毒検査

a 添加物等検査

甘味料 317 項目、着色料 1,932 項目、保存料 289 項目、酸化防止剤 108 項目、漂白・殺菌剤 16 項目、発色剤 23 項目、防ばい剤 2 項目、品質保持剤 12 項目、乳化剤 10 項目を実施した(表 1-11-1)。

b 乳及び乳製品

乳等規格検査 60 項目を実施した(表 1-11-1)。

c 容器包装等規格検査

容器包装等規格検査 43 項目(器具容器包装の重金属検査 17 項目を含む)を実施した(表 1-11-1)。

d 重金属検査

魚介類、清涼飲料水、器具容器包装などについて 151 項目(容器包装等規格検査項目に計上した器具容器包装の重金属 17 項目及び添加物規格(重金属)の 4 項目を含む)を実施した(表 1-11-1~2)。

e 自然毒検査

カビ毒、貝毒について 8 検体 11 項目を実施した(表 1-11-1、表 1-11-3)。

(イ) 農産物等の残留農薬検査

穀類及びその加工品 5 検体 795 項目、農産物(豆類、果実、野菜、種実、茶) 81 検体 13,158 項目、学校給食食材 11 検体 11 項目、その他の食品 15 検体 855 項目、苦情品 28 検体、4,704 項目を実施した。

以上、全体で 184 種類の農薬について、合計 140 検体 19,523 項目の検査を実施した(表 1-11-1、表 1-11-4-1~4)。

(ロ) 畜水産物中の残留動物用医薬品の検査

乳(生乳・牛乳) 12 検体 192 項目、鶏卵 7 検体 133 項目、食肉(牛肉・豚肉・鶏肉) 41 検体 818 項目(うち 4 検体 4 項目は学校給食)、魚介類(コイ・マダイ等 8 種) 19 検体 118 項目を実施した。

以上、23 種類の動物用医薬品について 79 検体 1,261 項目の検査を実施した(表 1-11-5)。

(ハ) 組換え DNA 技術応用食品の検査

組換え DNA 技術応用食品の検査に関して、トウモロコシ 5 検体の検査を実施した(表 1-11-6)。

(ニ) 流通食品中の放射能検査

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の汚染状況について、流通食品および給食(提供食)の検査を 672 検体実施した。(表 1-11-7)。

(ホ) 苦情食品検査

保健所から依頼された苦情食品検査は 35 検体で、依頼項目は 4,786 項目であった(表 1-11-8~9)。

イ 家庭用品の規格検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、健康被害を防止するため、ホルムアルデヒド等 11 物質について検査を行った。内訳は繊維製品 13 種 159 項目、家庭用化学製品 8 種 36 項目であり、合計 21 種 195 項目の検査を実施した(表 1-12)。

ウ 飲料水等及び遊泳用プール水の水質検査

飲料水等の水質検査は、水道法の「水質基準に関する省令」に基づき、50 基準項目(30 健康項目+20 性状項目)について実施した。また、「千葉市遊泳用プール指導要綱」に基づきプール水の検査を行なった。

平成 25 年度の全検査件数は 861 件で、このうち飲料水等の水質検査は 842 件、プール水は 19 件であった(表 1-13-1)。

自家用井戸水の検査件数 437 件中 66 件(15.1%)で不適項目があった(表 1-13-2)。

必須項目検査を実施した自家用井戸水(259 件)の検査結果を区別、項目別に集計した(表 1-13-3)。また、平成 25 年度に検査を実施した飲料水等の検査項目別検査件数と不適合数を表 1-13-4 に示した。なお、プール水の検査状況は表 1-13-5 のとおりであった。

エ 室内空気化学物質の検査

厚生労働省通知に基づく検査を 1 件 63 項目について実施した。また、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく依頼検査を 4 件 18 項目について実施した(表 1-14)。

表 1-11-1 平成 25 年度 食品理化学等検査実施状況

検査項目 検査検体の種類	総検体数	食品添加物等										乳等規格	容器包装等規格	添加物規格	重金属	カビ毒・貝毒	残留農薬	動物用医薬品	組換えDNA技術応用食品	放射能	その他	総検査項目数
		甘味料	着色料	保存料	酸化防止剤	漂白・殺菌剤	発色剤	防ばい剤	品質保持剤	乳化剤												
検査区分合計		317	1,932	289	108	16	23	2	12	10	60	43	11	134	11	19,523	1,261	5	1,344	95	25,196	
食 品 等	魚介類	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	6	-	118	-	110	2	326	
	冷凍食品	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	855	-	-	-	-	855	
	魚介類加工品	53	76	408	84	6	3	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	598	
	肉卵類及びその加工品	80	-	168	17	12	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	951	-	24	-	1,189	
	乳製品	55	24	96	41	12	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	60	-	237
	アイスクリーム類・氷菓	11	20	120	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	152
	穀類及びその加工品	26	-	48	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	795	-	5	18	11	888
	野菜類・果物及びその加工品	204	67	405	84	8	13	-	2	-	-	-	-	-	-	5	13,169	-	-	140	-	13,893
	菓子類	55	110	567	43	70	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	808
	清涼飲料水	46	20	120	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	72	-	272
	かん詰・びん詰食品	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	6
	その他の食品	425	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	850	-	850
	添加物及びその製剤	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	4	-	-	-	-	-	-	15
	器具容器包装	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	43
	生乳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	32	-	-	-	36
	牛乳	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	160	-	24	-	224
加工乳(乳脂肪分3%未満)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
その他の乳	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	10	
その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	6	
小計	1,101	317	1,932	289	108	16	23	2	12	10	60	43	11	134	11	14,819	1,261	5	1,344	13	20,410	
苦情品(食品等)	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,704	-	-	-	82	4,786	

表 1-11-2 平成25年度 重金属検査

項目名	検体名												総計		
	ウナギ	クルマエビ	コイ	スズキ	ニジマス	ハマチ・ブリ	ヒラメ	マダイ	アサリ	ホタテガイ	ムールガイ	清涼飲料水		器具容器包装	添加物
検体数	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	10	5	2	31
ヒ素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	10
鉛	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	10	-	-	24
カドミウム	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	10	-	-	24
スズ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	10
マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
亜鉛	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	-	-	-	14
水銀	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	-	-	-	14
銅	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	-	-	-	14
T B T O	-	1	-	1	-	2	1	2	1	1	1	-	-	-	10
T P T	-	1	-	1	-	2	1	2	1	1	1	-	-	-	10
メチル水銀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
ヒ素 (添加物規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
鉛 (添加物規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
重金属 (添加物規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
重金属 (容器包装規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5
鉛 (容器包装規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5
カドミウム (容器包装規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5
アンチモン (容器包装規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
ゲルマニウム (容器包装規格)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
合計	5	7	5	7	10	14	7	14	7	7	7	40	17	4	151

表 1-11-3 平成25年度 自然毒検査

項目名	検体名						総計
	らつかせい	アーモンド	クルマミ	アサリ	ムールガイ	ホタテガイ	
検体数	3	1	1	1	1	1	8
アフラトキシン	3	1	1	-	-	-	5
下痢性貝毒	-	-	-	1	1	1	3
麻痺製貝毒	-	-	-	1	1	1	3
合計	3	1	1	2	2	2	11

表 1-11-4-1 平成25年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 収去・買上検査）

分類	検体種	検体数	項目数
穀類及びその加工品	小麦粉	5	795
豆類	らっかせい	3	477
果実	いちご	2	331
野菜	未成熟いんげん	3	489
	未成熟えんどう	1	157
	キャベツ	7	1,169
	きゅうり	4	668
	ごぼう	2	336
	こまつな	6	987
	さといも	3	495
	サラダ菜	3	501
	すいか	1	166
	そらまめ	1	157
	だいこん	1	167
	トマト	4	668
	なす	2	334
	菜の花	1	159
	にんじん	6	1,008
	ねぎ	4	672
	ばれいしょ	1	165
	ピーマン	4	668
	ブロッコリー	3	489
	ほうれんそう	6	987
	らっきょう	1	168
レタス	3	501	
わけねぎ	2	336	
種実類	アーモンド	1	159
	その他のナッツ類	1	159
茶	茶	5	585
その他	冷凍食品等	15	855
	合計	101	14,808

表 1-11-4-2 平成25年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 給食食材）

分類	検体種	検体数	項目数
野菜	カリフラワー	1	1
	キャベツ	2	2
	こまつな	1	1
	だいこん	1	1
	チンゲン菜	1	1
	にら	1	1
	ピーマン	1	1
	トマト	1	1
	レタス	1	1
果物	みかん	1	1
	合計	11	11

表 1-11-4-3 平成25年度 農作物等の残留農薬検査（農薬別 収去・買上、給食食材検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC	81	ジフェナミド	86	フェンバレレート	81
DDT	81	ジフェノコナゾール	81	フェンブコナゾール	86
EPN	101	シフルトリン	81	フェンプロパトリン	81
XMC	81	ジフルベンズロン	63	フェンプロピモルフ	86
アクリナトリン	81	シプロコナゾール	86	フサライド	86
アザコナゾール	86	シベルメトリン	81	ブタミホス	101
アジンホスエチル	15	シマジン	86	ブピリメート	86
アジンホスメチル	15	ジメタメトリン	86	ブプロフェジン	86
アセタミプリド	81	ジメチルビンホス	101	フラムプロップメチル	86
アセトクロール	86	ジメトエート	96	フルアクリピリム	86
アセフェート	15	ジメビペレート	86	フルシトリネート	81
アトラジン	86	スルプロホス	15	フルトラニル	86
アメトリン	86	ダイアジノン	96	フルトリアホール	86
アルドリン及びディルドリン	57	チオベンカルブ	86	フルバリネート	81
イサゾホス	86	チオメトン	101	フルフェノクスロン	63
イソキサチオン	96	テクナゼン	86	フルミオキサジン	86
イソフェンホス	101	テトラクロルビンホス	86	フルミクロラックペンチル	86
イソプロカルブ	86	テトラジホン	81	プレチラクロール	86
イソプロチオラン	86	テニルクロール	86	プロシミドン	86
イプロバリカルブ	63	テブコナゾール	86	プロチオホス	96
イプロベンホス	101	テブフェンピラド	81	プロバクロール	86
イマザメタベンズメチルエステル	86	テフルトリン	86	プロパニル	86
イミベンコナゾール	81	テフルベンズロン	63	プロパホス	15
エスプロカルブ	86	デルタメトリン及びトラロメトリン	81	プロバルギット	86
エチオン	96	テルブホス	101	プロビコナゾール	81
エディフェンホス	101	トリアジメノール	86	プロビザミド	86
エトフメセート	86	トリアジメホン	86	プロフェノホス	96
エトプロホス	101	トリアゾホス	85	プロボキスル	86
エトリムホス	101	トリアレート	86	プロマシル	86
エンドスルファン	86	トリブホス	86	プロメトリン	86
エンドリン	29	トリフロキシストロビン	86	プロモブチド	86
オキサジアゾン	86	トルクロホスメチル	101	プロモプロピレート	86
オキサジキシル	86	トルフェンピラド	86	プロモホスエチル	15
オキシフルオルフェン	86	ナプロパミド	86	ヘキサジノン	86
オメトエート	15	ニトロタールイソプロピル	86	ベナラキシル	86
カズサホス	101	ノルフルラゾン	86	ベノキサコル	86
カルバリル	63	パクロブトラゾール	86	ペルメトリン	81
カルフェントラゾンエチル	86	バミドチオン	15	ベンダイオカルブ	63
カルボフラン	86	パラチオン	95	ペンディメタリン	86
キナルホス	101	パラチオンメチル	96	ベンフルラリン	86
キノキシフェン	86	ハルフェンブロックス	81	ベンフレセート	86
キノクラミン	86	ビテルタノール	86	ホサロン	96
キントゼン	86	ピフェントリン	81	ホスチアゼート	101
クマホス	15	ピペロホス	86	ホスファミドン	101
クロマゾン	86	ピラクロホス	96	ホスメット	101
クロルタールジメチル	86	ピラゾホス	86	ホルモチオン	15
クロルピリホス	107	ピリダフェンチオン	101	ホレート	101
クロルピリホスメチル	101	ピリダベン	81	マラチオン	101
クロルフェンビンホス	101	ピリフェノックス	81	ミクロブタニル	86
クロルプロファミ	86	ピリプロキシフェン	86	メタミドホス	15
クロルベンジレート	86	ピリミカーブ	63	メトラキシル及びメフェノキサム	81
サリチオン	15	ピリミホスメチル	96	メチダチオン	96
シアノフェンホス	15	ピンクロゾリン	86	メトキシクロル	86
シアノホス	101	フェナミホス	101	メトミノストロビン	86
ジエトフェンカルブ	86	フェナリモル	86	メトラクロール	86
ジクロフェンチオン	15	フェニトロチオン	96	メフェナセツト	86
ジクロホップメチル	86	フェノチオカルブ	86	メプロニル	86
ジクロラン	86	フェノトリン	86	モノクロトホス	101
ジクロルボス	15	フェノブカルブ	63	ルフェヌロン	63
ジコホール	81	フェンスルホチオン	101	レナシル	86
ジスルホトン	15	フェンチオン	101		
シハロトリン	81	フェントエート	96		
				合計	14,819

表 1-11-4-4 平成25年度 苦情食品、食中毒等の残留農薬検査（農薬別検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC	28	ジフェナミド	28	フェンバレレート	28
DDT	28	ジフェノコナゾール	28	フェンブコナゾール	28
EPN	28	シフルトリン	28	フェンプロパトリン	28
XMC	28	ジフルベンズロン	0	フェンプロピモルフ	28
アクリナトリン	28	シプロコナゾール	28	フサライド	28
アザコナゾール	28	シペルメトリン	28	ブタミホス	28
アジンホスエチル	0	シマジン	28	ブピリメート	28
アジンホスメチル	0	ジメタメトリン	28	ブプロフェジン	28
アセタミプリド	28	ジメチルビンホス	28	フラムプロップメチル	28
アセトクロール	28	ジメトエート	28	フルアクリピリム	28
アセフェート	28	ジメピペレート	28	フルシトリネート	28
アトラジン	28	スルプロホス	28	フルトラニル	28
アメトリン	28	ダイアジノン	28	フルトリアホール	28
アルドリン及びディルドリン	28	チオベンカルブ	28	フルバリネート	28
イサゾホス	28	チオメトン	28	フルフェノクスロン	0
イソキサチオン	28	テクナゼン	28	フルミオキサジン	28
イソフェンホス	28	テトラクロルビンホス	28	フルミクロラックペンチル	28
イソプロカルブ	28	テトラジホン	28	プレチラクロール	28
イソプロチオラン	28	テニルクロール	28	プロシミドン	28
イプロバリカルブ	0	テブコナゾール	28	プロチオホス	28
イプロベンホス	28	テブフェンピラド	28	プロパクロール	28
イマザメタベンズメチルエステル	28	テフルトリン	28	プロパニル	28
イミベンコナゾール	28	テフルベンズロン	0	プロパホス	28
エスプロカルブ	28	デルタメトリン及びトラロメトリン	28	プロバルギット	28
エチオン	28	テルブホス	28	プロピコナゾール	28
エディフェンホス	28	トリアジメノール	28	プロピザミド	28
エトフメセート	28	トリアジメホン	28	プロフェノホス	28
エトプロホス	28	トリアゾホス	28	プロボキスル	28
エトリムホス	28	トリアレート	28	プロマシル	28
エンドスルフアン	28	トリブホス	28	プロメトリン	28
エンドリン	28	トリフロキシストロビン	28	プロモブチド	28
オキサジアゾン	28	トルクロホスメチル	28	プロモプロピレート	28
オキサジキシル	28	トルフェンピラド	28	プロモホスエチル	0
オキシフルオルフェン	28	ナプロバミド	28	ヘキサジノン	28
オメトエート	0	ニトロタールイソプロピル	28	バナラキシル	28
カズサホス	28	ノルフルラゾン	28	ベノキサコル	28
カルバリル	0	パクロブトラゾール	28	ペルメトリン	28
カルフェントラゾンエチル	28	バミドチオン	0	ベンダイオカルブ	0
カルボフラン	28	パラチオン	28	ベンディメタリン	28
キナルホス	28	パラチオンメチル	28	ベンフルラリン	28
キノキシフェン	28	ハルフェンプロックス	28	ベンフレセート	28
キノクラミン	28	ビテルタノール	28	ホサロン	28
キントゼン	28	ビフェントリン	28	ホスチアゼート	28
クマホス	0	ピペロホス	28	ホスファミドン	28
クロマゾン	28	ピラクロホス	28	ホスメット	28
クロルタールジメチル	28	ピラゾホス	28	ホルモチオン	28
クロルピリホス	28	ピリダフェンチオン	28	ホレート	28
クロルピリホスメチル	28	ピリダベン	28	マラチオン	28
クロルフェンビンホス	28	ピリフェノックス	28	ミクロブタニル	28
クロルプロファム	28	ピリプロキシフェン	28	メタミドホス	28
クロルベンジレート	28	ピリミカーブ	0	メタラキシル及びメフェノキサム	28
サリチオン	28	ピリミホスメチル	28	メチダチオン	28
シアノフェンホス	28	ピンクロゾリン	28	メトキシクロル	28
シアノホス	28	フェナミホス	28	メトミノストロビン	28
ジエトフェンカルブ	28	フェナリモル	28	メトラクロール	28
ジクロフェンチオン	28	フェニトロチオン	28	メフェナセート	28
ジクロホップメチル	28	フェノチオカルブ	28	メプロニル	28
ジクロラン	28	フェノトリン	28	モノクロトホス	28
ジクロルボス	28	フェノブカルブ	0	ルフェヌロン	0
ジコホール	28	フェンスルホチオン	28	レナシル	28
ジスルホトン	0	フェンチオン	28		
シハロトリン	28	フェントエート	28		
				合計	4,704

表 1-11-5 平成 25 年度 畜水産物中の残留動物用医薬品検査

検体名 項目名	牛乳	生乳	鶏卵	牛肉	豚肉	鶏肉	マダイ	コイ	ニジマス	ウナギ	ヒラメ	クルマエビ	ブリ(ハマチ)	生食用カキ	総計
検体数	10	2	7	13	1	27	2	1	2	1	1	1	2	9	79
オキシテトラサイクリン	10	2	7	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	9	75
クロルテトラサイクリン	10	2	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	56
テトラサイクリン	10	2	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	56
スピラマイシン	-	-	-	-	-	-	2	1	2	1	1	1	2	9	19
スルファメラジン	10	2	7	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	-	66
スルファジミジン	10	2	7	13	1	27	2	1	2	1	1	1	2	-	70
スルファモノメトキシ	10	2	7	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	-	66
スルファジメトキシ	10	2	7	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	-	66
スルファキノキサリン	10	2	7	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	-	66
スルファジアジン	-	-	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	44
スルファチアゾール	-	-	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	44
スルファドキシ	-	-	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	44
スルファメトキサゾール	-	-	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	44
オキシリン酸	10	2	-	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	-	59
チアンフェニコール	10	2	7	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	-	66
オルメトプリム	10	2	7	13	-	24	2	1	2	1	1	1	2	-	66
チアベンダゾール	10	2	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	56
フルベンダゾール	10	2	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	56
トリメトプリム	10	2	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	56
5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン	10	2	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	56
レバミゾール	10	2	7	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	56
オフロキサシン	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	37
オルビロキサシン	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	37
合計	160	32	133	286	1	531	20	10	20	10	10	10	20	18	1,261

表 1-11-6 平成 25 年度 組換え DNA 技術応用食品検査

品 種	検体種類	項 目	検体数	項目数
トウモロコシ	加工食品	トウモロコシ (CBH351)	5	5

表 1-11-7 平成 25 年度 放射能検査

対 象 食 品	検体数	依頼元
流通食品	250	食品安全課
保育所給食	陰膳 (まるごと検査)	保育運営課
	食材検査	
学校給食	陰膳 (まるごと検査)	保健体育課
	食材検査	
合 計	672	

表 1-11-8 平成 25 年度 苦情食品検査 (理化学検査)

搬入月	検 体 の 種 類	検体数	検 査 項 目
4 月	ハウレンソウ	1	農薬(168 項目)
	飲食店弁当	1	農薬(168 項目)
	小学校異物	1	鑑別
5 月	飲食店異物	1	鑑別
7 月	マグロたたき	1	ヒスタミン
9 月	牛肉	1	農薬(168 項目)
	冷凍メンチカツの異物	1	鑑別
1 月	おたふく豆の異臭	1	農薬(168 項目)
	冷凍食品	4	農薬(168 項目)
	冷凍食品	3	農薬(168 項目)
	冷凍食品	5	農薬(168 項目)
	冷凍食品	3	農薬(168 項目)
	冷凍食品	1	農薬(168 項目)
	冷凍食品	1	農薬(168 項目)
	牛乳	2	農薬(168 項目)、揮発性有機化合物(19 項目)
	冷凍食品	1	農薬(168 項目)
冷凍食品	1	農薬(168 項目)	
2 月	冷凍食品	1	農薬(168 項目)
	むき栗	2	農薬(168 項目, 1 検体のみ)、揮発性有機化合物(19 項目)
3 月	食肉製品	1	農薬(168 項目)
	鶏肉	2	揮発性塩基窒素

苦情食品等検査依頼数 13 件 (1~2 月の冷凍食品は同一事件のため 1 件と集計した) 依頼検体数 35 検体 4,786 項目

表 1-11-9 平成 25 年度 項目別苦情食品等検査依頼件数

項 目	依頼件数
農薬	8
鑑別	3
揮発性有機化合物	2
ヒスタミン	1
揮発性塩基窒素	1

表 1-12 平成 25 年度 家庭用品検査

検体名	項目名	ホルムアルデヒド			有機水銀	デイルドリン	水酸化カリウム・水酸化ナトリウム	メタノール	テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	容器試験	ジベンゾ (a・h) アントラセン	ベンゾ (a) アントラセン	ベンゾ (a) ピレン	検査数合計	検体数合計
		生後二十四ヶ月以内のもの	生後二十四ヶ月以内を除くもの	小計												
試験検査数合計		71	20	91	59	19	2	4	6	6	2	2	2	2	195	111
基準違反数合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
織 維 製 品	おしめ	3	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3
	おしめカバー	3	-	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	9	3
	よだれ掛け	5	-	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5
	下着	10	6	16	16	3	-	-	-	-	-	-	-	-	35	16
	中衣	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7
	外衣	8	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	11	8
	手袋	3	3	6	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	15	6
	くつした	10	6	16	16	3	-	-	-	-	-	-	-	-	35	16
	帽子	6	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6
	衛生パンツ	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	寝衣	10	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	13
寝具	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	
家庭用毛糸	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
小計		71	18	89	51	19	0	0	0	0	0	0	0	0	159	93
家庭用化学製品	家庭用接着剤	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	くつしたどめ等接着剤	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用塗料	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用ワックス	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	くつ墨・くつクリーム	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用エアゾル製品	-	-	-	-	-	-	4	4	4	-	-	-	-	12	4
	家庭用洗剤	-	-	-	-	-	2	-	2	2	2	-	-	-	8	2
	防腐木材・防虫木材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	6	2
小計		0	2	2	8	0	2	4	6	6	2	2	2	2	36	18

表 1-13-1 平成 25 年度 飲料水等及びプール水の検査種別件数

検体名	検査種別	一般依頼件数	保健所依頼件数	合計
飲料水等	全項目検査	14	0	14
	省略不可能項目検査	61	0	61
	必須項目検査	411	8	419
	有機塩素系検査	159	0	159
	給水設備関連項目検査	14	0	14
	消毒副生成物検査	9	0	9
	原水項目検査	4	0	4
	単項目検査（細菌検査分を含む）	162	0	162
	小 計	834	8	842
プール水		14	5	19
合 計		848	13	861

表 1-13-2 平成 25 年度 飲料水等の検体種別検査結果

検体種別	検査件数	適合件数	不適合件数	不適合率 (%)
自家用井戸水	437	371	66	15.1
専用水道原水	85	83	2	2.4
専用水道浄水	231	227	4	1.7
小規模専用水道原水	9	6	3	33.3
小規模専用水道浄水	18	18	0	0.0
簡易専用水道	13	13	0	0.0
その他	49	48	1	2.0
合 計	842	766	76	9.0

表 1-13-3 平成 25 年度 自家用井戸水における区別必須項目検査結果

項目 区名	検査 件数	不 適合 数	不 適合 率 (%)	項 目 別 不 適 合 数								
				一般 細菌	大腸菌	硝酸・ 亜硝酸 態窒素	塩素 イオン	有機物	pH値	臭気	色度	濁度
中央区	29	7	24.1	1	1	1	-	-	1	2	1	1
花見川区	39	13	33.3	3	1	9	-	-	1	1	1	1
稲毛区	21	4	19.0	1	-	4	-	-	-	-	-	-
若葉区	116	19	16.4	9	1	7	-	-	-	2	-	-
緑区	50	12	24.0	3	-	8	-	-	-	1	-	-
美浜区	4	2	50.0	2	-	-	1	1	-	-	1	1
合 計	259	57	22.0	19	3	29	1	1	2	6	3	3

表 1-13-4 平成 25 年度 項目別飲料水等検査

	検査件数	不適合数	不適合率(%)
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	515	31	6.0
塩化物イオン	513	1	0.2
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	512	1	0.2
pH値	512	2	0.4
臭気	516	12	2.3
色度	512	4	0.8
濁度	512	4	0.8
カドミウム	18	0	-
水銀	18	0	-
セレン	18	0	-
鉛	32	0	-
ヒ素	25	1	4.0
六価クロム	18	0	-
シアン化物イオン及び塩化シアン	88	0	-
臭素酸	84	0	-
ホルムアルデヒド	84	0	-
フッ素	22	0	-
亜鉛	32	0	-
鉄	38	2	5.3
銅	32	0	-
ナトリウム	18	0	-
マンガン	33	3	9.1
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	34	3	8.8
蒸発残留物	44	2	4.5
陰イオン界面活性剤	18	0	-
フェノール類	18	0	-
ハウ素	21	0	-
1,4-ジオキサン	21	0	-
アルミニウム	21	1	4.8
非イオン界面活性剤	21	0	-
ジオオスミン	18	0	-
2-メチルイソボルネオール	18	0	-
クロロ酢酸	84	0	-
ジクロロ酢酸	84	0	-
トリクロロ酢酸	84	0	-
ジクロロメタン	18	0	-
シス1,2-ジクロロエチレン及びトランス1,2-ジクロロエチレン	18	0	-
ベンゼン	18	0	-
クロロホルム	84	0	-
ジブロモクロロメタン	84	0	-
プロモジクロロメタン	84	0	-
プロモホルム	84	0	-
総トリハロメタン	84	0	-
四塩化炭素	177	0	-
テトラクロロエチレン	177	1	0.6
トリクロロエチレン	177	1	0.6
1,1,1-トリクロロエタン	159	0	-
塩素酸	84	0	-
合 計	5,886	69	

表 1-13-5 平成 25 年度 プール水検査

検査項目	検査件数
pH値	18
濁度	18
有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	18
総トリハロメタン	1
合計	55

表 1-14 平成 25 年度 室内中化学物質検査

検査項目 根拠法令等	検体数	ホルムアルデヒド	アセトアルデヒド	トルエン	キシレン	パラジクロロベンゼン	エチルベンゼン	スチレン	総項目数
厚労省通知に基づく依頼検査	1	9	9	9	9	9	9	9	63
建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく依頼検査	4	18	-	-	-	-	-	-	18
合計	5	27	9	9	9	9	9	9	81

表 1-15 平成 25 年度 精度管理に関する業務

	内部精度管理		外部精度管理			
	実施頻度	実施項目	実施頻度	実施項目数 実施検体数	実施項目	実施機関
食品等	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	年 4 回	6 項目 4 検体	<ul style="list-style-type: none"> ゼリー菓子中の着色料の定性 漬物中のソルビン酸の定量 鶏肉ペースト中のスルファジミジンの定量 にんじんペースト中の 6 種農薬中 3 種農薬の定性と定量 	(財)食品薬品安全センター
家庭用品	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	-	-	-	-
飲料水等	-	-	年 2 回	2 項目 2 検体	鉛及びその化合物 ホルムアルデヒド	千葉県水道水質管理連絡協議会 (水質検査精度管理委員会)
			年 1 回	2 項目 2 検体	ホウ素及びその化合物 クロロ酢酸	厚生労働省

(5) 内部精度管理・外部精度管理

検査の信頼性確保を目的として「千葉県食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」等に基づき、内部精度管理・外部精度管理を行った。

ア 細菌検査

各検査は、「標準作業書」に基づき実施した。また、食品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 内部精度管理

検査制度確認のため、生菌数検査を年3回実施し、結果は良好であった。

(4) 外部精度管理

第三者機関である(財)食品薬品安全センターから送付された検体について、微生物学的調査(E. coli 検査)を実施し、結果は良好であった。

イ ウイルス検査

全国地衛研外部精度管理(EQA)インフルエンザウイルス核酸検出検査(リアルタイムRT-PCR法)に参加した。

国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センターから送付されたパネル検体(インフルエンザウイルスA/H7及びA/H5陽性コントロールRNA)に対して、それぞれ 10^{-1} から 10^{-4} 希釈までの10倍段階希釈をし、リアルタイムRT-PCR法にて各サンプルのCt値を測定したところ良好な結果が得られた。

ウ 理化学検査

内部精度管理は、食品等や家庭用品の理化学検査試行毎精度確認であり、外部精度管理は、外部機関から送付される擬似食品等を通常と同様に検査を行い、他の検査施設との比較を目的に行うもので、食品等や飲料水等の理化学検査について行った。(表1-15)。

各検査は、「標準作業書」に基づき実施し、「検査標準作業書」は常に見直し、必要な改定を実施した。また、食品等や家庭用品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 食品等検査

a 内部精度管理

検査精度確認のため、試験品の検査頻度に応じ、検査項目ごとに添加回収試験を実施した。

b 外部精度管理

第三者機関である(財)食品薬品安全センターから送付された検体について延べ4回の検査を実施し、結果は良好であった。

(4) 家庭用品検査

保健所が「千葉県家庭用品監視指導要領」に基づき試買した検体の検査については、「千葉県家庭用品検査施設における検査等の業務管理要領」の考え方に従った。

内部精度管理として、検査項目毎に件数に応じた

頻度での添加回収試験を実施した。

(4) 飲料水等検査

千葉県水道水質管理連絡協議会及び厚生労働省が実施する外部精度管理に参加し、延べ3回4項目について実施した。